

9-3

施設行事の取り組みについて

利用者に楽しんでいただける行事にしたい

組織改革

規模縮小

特別養護老人ホーム 中央本町杉の子園

介護職 内田 直樹

介護課 課長 渡部 真也

東京都足立区中央本町4丁目14番20号

TEL 03-3886-0002

Chuuouhonchou-suginokoen@s6.dion.ne.jp

FAX 03-3886-1600

URL

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

当施設は、足立区で10番目に造られた施設で環状7号線と国道4号線の交わる位置にある。事業所は6つあり、それぞれの事業所は足立区で幅広く活躍している。中でも特別養護老人ホームでは、第三者評価を実施し高い評価を受けている。

〈取り組んだ課題〉

○毎年7月下旬に夏祭りを行っているが、近年規模の拡大が進み、地域住民の方の為の行事になっており、利用者が一番に楽しんでいただけてはいない。
○規模を縮小し、利用者とそのご家族に楽しんでいただきたい。

〈具体的な取り組み〉

○夏祭り実行委員会を月二回開き、例年とは、どう違う形で行っていくか、どうすれば利用者中心の祭りにできるかを話し合っていく。
○職員数の減少と長期利用者全体のレベル低下に合わせ開催時間を短縮し、職員や利用者の負担を軽減していく。
○施設関係者以外、施設内への立ち入りをお断りする。毎年施設の夏祭りを楽しみにしている、ボランティアの方や近隣の住民の方に、今年は参加できないと伝え、ご理解ご協力をお願いします。

〈活動の成果と評価〉

○関係者以外の立ち入りをお断りしたことにより、会場にスペースができ、利用者一人ひとりに目が行き届くようになった。
○盆踊りに参加していただいていた婦人部会の方もお断りし、盆踊りの際の踊り子さんたちも減ったので盆踊りの輪の中に利用者が入ることができ、一緒に楽しんでいただけた。

○規模を縮小したことで、勤務時間内に行うことができ、真夏の暑い中人ごみにいることもなく、職員や利用者の負担が軽減された。
○誰のため、何のために行う行事かということを確認できた。
○例年とは違う形で行ったため、職員やご家族などに流れなどがうまく伝わっておらず、失敗してしまったこともあったが、来年への良い課題が見出せた。

〈今後の課題〉

○夏祭り当日、地域住民の方から苦情がきてしまったので、音響など開催規模をもう一度見直し、施設にあったものを作っていく。
○職員の意識を高め、実行委員だけではなく職員全体で夏祭りの雰囲気を出せるようにしていきたい。